



2021年度業務計画(案)

電磁界情報センター

2021年度業務計画の考え方(1/3)

＜2021年度の活動＞

これまで築き上げてきた、信頼できる「第三者機関」に求められる高度な専門性の蓄積と情報収集、情報提供を継続するとともに、新たな手段等を活用し、情報提供活動を充実させる。

- 国際的機関との連携および重要情報に関する詳細調査(文献・訪問など)を充実し専門性を高めるとともに、新たな電磁波発生源の測定調査を行う。
- 従来の現地開催型の対応(講師派遣またはセミナー開催)による情報提供手段に加え、オンライン形式の「WEBセミナー」の開催、講演動画の配信等により、情報提供活動を充実させ継続する。
- 妊婦を対象とした対象層特化活動を継続するとともに、ホームページを活用した効果的・効率的な情報提供を図る。

に重点を置く。

2021年度業務計画の考え方(2/3)

＜2021年度業務計画の具体的力点＞

1. 情報調査業務

- ・ 国際的機関との連携により最新論文収集とデータの着実な蓄積に努める。
- ・ 問合せ対応内容等を踏まえ、これまでにJEICで測定を実施していない電磁波発生源として、充電式家電製品やスマートメーターから発生する電磁界について測定を実施する。

2. 情報提供・管理業務

- ・ 従来の行政や諸団体等からの講師派遣依頼の対応に加え、オンライン形式の「WEBセミナー」(個人向け・団体向け)を新たに開催し、より多くの方への情報提供・知識啓発を図る。
- ・ 情報提供の場(学校保健・衛生関係関連学会等)の拡大および、講演動画の配信により、情報の媒介者を対象とした情報提供活動を継続して実施する。

2021年度業務計画の考え方(3/3)

2. 情報提供・管理業務（続き）

- 母子衛生研究会との連携により、市町村の母子保健関係者セミナーおよび母子健康手帳配布に併せた電磁波に関する教材配布事業について、より多くの妊婦に情報が届くよう同会との効果的な連携を検討しながら継続する。
- ホームページを活用した効果的・効率的な情報提供を図る（WEBセミナーの参加者募集、講演動画の配信、情報の最適化等）。
- 最新情報の提供（ホームページ、ニュースレター、メールマガジン等）や、各種セミナー等の場を活用し、賛助会員（会費）の維持を図る。

2021年度業務実施状況【情報調査G】(1/2)

1.情報収集・調査

1-1.電磁界関連情報(1次情報)の収集

- 【報道内容】新聞記事検索会社、コンサルタント会社との情報配信契約による情報収集
- 【研究動向】より幅広い情報収集を目指し、ドイツ・アーヘン工科大学が運営する世界最大の情報データベースであるEMF-Portalと連携を図る
- 【社会動向】市民団体機関誌購読、イベント参加やコンサルタント会社との情報配信契約による情報収集

➤ 報道記事約10件、研究動向約120件、社会動向約10件収集(8月末現在)

1-2.入手した1次情報の詳細調査

- 職員による文献調査、関係者インタビュー、現地調査などによる情報検証

2021年度業務実施状況【情報調査G】(2/2)

2.情報整理・評価

2-1.電磁界データベースの整備

- 引き続き、EMF-Portalとの連携により入手する情報の随時翻訳を行うとともに、学術論文の整理・登録を実施 [\[詳細説明1\]](#)
- 国内外の電磁波関連公文書も継続的に登録
- JEICデータベースの再構築 [\[詳細説明2\]](#)

2-2.報道等の内容精査

- 新聞記事および最近出版された書籍を中心に、記事内容の関係者インタビューや関係文献の調査を行い、結果の公表、報道機関への連絡等を実施

3.磁界レベルに関する調査(磁界測定プロジェクト)

3-1. 廉価な磁界測定器・磁界測定アプリ等の精度確認

- 精度確認結果を国内外の学会にて発表する(一部予定)とともに、ホームページに掲載済み [\[詳細説明3\]](#)

3-2.問合せ対応内容等を踏まえ、これまでにJEICで測定を実施していない電磁波発生源についての測定実施を検討

- スマートメーターから発生する磁界について調査の検討 [\[詳細説明3\]](#)
- 充電式家電製品から発生する磁界の調査 [\[詳細説明3\]](#)

2021年度業務実施状況【情報提供G】(1/3)

1. 情報提供ツールの整備

1-1. ホームページ

- 最新情報の提供
 - 更新回数55回(8月末現在)
[海外の動向8回、論文の紹介10回(新規論文数122)]
- ホームページの更新 [詳細説明4]

1-2. インターネット広告の配信

- 妊婦・子どもを持つ親、医療従事者、学生をターゲットに広告配信の最適化
[詳細説明5]

1-3. パンフレット

- 最新情報にあわせ都度パンフレットを改訂
 - 「プレママのための知って安心、電磁波のこと」(2021年3月改訂)
[詳細説明8]

1-4. ニュースレター・メールマガジン

- ニュースレター、メールマガジンを継続的に発行(8月末現在)
 - ニュースレター 2回発行(通算61号)
 - メールマガジン 毎月発行

2021年度業務実施状況【情報提供G】(2/3)

2.双方向コミュニケーションの実施

2-1.問い合わせ対応

- 電話、メール、Fax、来所による電磁界の健康影響に関する問い合わせ対応
 - 303件(平均60.6件/月)(8月末現在) [詳細説明6]

2-2.情報の媒介者を対象とした情報提供活動

- 学校保健関連等の学会、大会への出展およびランチョンセミナーの開催
 - ランチョンセミナー 計15回(うち実施済9件)(8月末現在) [詳細説明7]

2-3.対象層特化活動の充実(妊婦の知識啓発)

- 「健やか親子21」参加団体への啓発活動、妊婦関連の学会での情報提供
- 母子衛生研究会との連携による市町村の母子保健関係者セミナーの継続
- 2018年度より開始した母子健康手帳副読本配布に併せた電磁波に関する教材配布事業の継続 [詳細説明8]

2-4.要請による電磁界説明会

- 消費者生活センター、地方公共団体等への講師派遣を実施
 - 依頼講演会 計13回(実施済0件、予定13件)(8月末現在) [詳細説明9]

2021年度業務実施状況【情報提供G】(3/3)

2-5.WEBセミナーへの取り組み

- 新型コロナウイルス感染防止の観点から、より広い地域の多くの方へ配信可能なオンラインによるWEBセミナー開催(実績8回、8月末現在) [詳細説明10]

3.リスクコミュニケーション促進活動

3-1.磁界測定器貸出

- 低周波磁界測定器の貸出を継続実施
 - 72件(平均14.4件/月)(8月末現在) [詳細説明11]

3-2.米国NCRP非電離放射線専門家パネル会合(2021.8)

- 招待講演を受けて、オンラインで電磁界情報センターの活動を紹介
[詳細説明12]

2021年度業務状況【管理G】

1.新規賛助会員募集、賛助会員数の維持・拡大

- ・ 賛助会員(会費)の維持・拡大のため、要請による電磁界説明会等の情報提供活動等の場を活用した賛助会員募集の取り組み

2.各種委員会の開催

2-1.運営委員会

- ・ 議論を中心とした年2回程度の開催運営

3.センター内教育の実施

- ・ 職員の能力向上に資するセンター内教育の実施

詳細説明

1. EMF-Portal(スライド`11~12)
2. JEICデータベースの再構築(スライド`13~14)
3. 磁界測定プロジェクト(スライド`15~16)
4. ホームページの更新(スライド`17~18)
5. インターネット広告の配信(スライド`19)
6. 問い合わせ対応状況(スライド`20)
7. 情報の媒介者を対象とした情報提供活動(スライド`21)
8. 対象層特化活動(妊婦の知識啓発)(スライド`22~23)
9. 要請による電磁界説明会(スライド`24)
10. WEBセミナーへの取り組み (スライド` 25)
11. 磁界測定器貸出 (スライド`26~28)
12. 米国NCRP非電離放射線専門家パネル会合 (スライド`29)

1. EMF-Portal(1/2)

海外機関との連携(EMF-Portalへの参画)

○EMF-Portal参画(協定締結):2014年9月(2019年7月契約更新完了)

【EMF-Portalの概要】

運 営	ドイツ・アーヘン工科大学医学部病院 職業医学研究所生体電磁気相互作用研究センター(<i>femu</i>)
目 的	一般(研究者、政治家、医者、法律科、ジャーナリスト、及びその他関心のある人々全般)向けの電磁界関連情報データベース
規 模	登録件数(タイトルのみなども含む総情報数) 約34,000件の内、健康影響に関連する約6,900件の詳細情報掲載 (総情報は約100件/月、詳細情報は約20件/月で新規登録)
情報種別	生物学、疫学、工学、規制など
言 語	英語、ドイツ語、(JEIC参画後は)日本語
その他	WHOのEMFプロジェクトHPにおいて、研究情報DBとして紹介されており、登録情報数は世界最大規模

○日本語版運用開始:2016年2月～(2016年6月に画面デザイン刷新)

日本語版用の新システム及び新WEBページを*femu*が開発後、日本語版運用を開始。

1. EMF-Portal(2/2)

○電磁界情報センターにより実施する作業

- 最新情報の随時翻訳
- 過去(2014年以前に掲載されていた)データの順次翻訳
 ※ なお、ドイツ側の予算都合により2018年5月1日以降の掲載を中断していた高周波領域の論文についても、2019年2月より掲載を再開。

作業内容	独/英登録済み	日本語翻訳済み
用語集の翻訳	約3,000語	完了(100%)
論文タイトル翻訳	約34,000件	完了(100%)
論文詳細情報翻訳	—	
2014年以前掲載分	約3,500件 〔登録数約5,000件の内、翻訳予定(健康影響に関するもののみ)の件数〕	約3,500件 完了(100%)
2015年以降掲載分	約1,900件	すべて対応済(100%)

※青色の数値は2021年8月末現在

○その他

- 2019年2月より、レスポンシブルデザインを採用し、スマホやタブレット等の携帯端末による閲覧にも配慮した画面となった。

2. JEICデータベースの再構築(1/2)

- JEICが独自に保有している電磁界の健康影響に関する論文や記事などをデータベースとしてまとめ、その一部を一般にも公開してきた。しかしながら、データベース構築後、約10年が経過し、その間にソフトウェアの更新やサーバー環境の変化などから、近年ではデータエラーが多発していて、その都度改修を実施していた。
- 2020年度より、これらの頻発している不具合を解消するため、本データベースの再構築を実施し、2021年6月10日に公開を開始した。

【2021年6月10日公開時の登録数(一般公開)】

論文	国際組織 刊行物等	国内公文書	ガイドライン 等	報告書等	その他	合計
15,460件	384件	71件	49件	144件	11件	16,119件

【データベース再構築のコンセプト】

- ✓ JEICが蓄積・公開している論文概要について、これまで同様の公開の実施
- ✓ 現在発生している不具合の解消
- ✓ 論文検索方法とその結果の分かり易い表示
- ✓ ユーザー登録情報の簡略化(閲覧分析に不要な個人情報入力を最小化)
- ✓ データベース保守の高度化

2. JEICデータベースの再構築(2/2)

【主な変更点①】

パソコン画面

電磁界情報データベース
論文、公的文書、規制、書籍などを収録しています。

最終更新日：2021-06-01

ログイン

ID (登録メールアドレス) とパスワードを入力してください

ID (登録メールアドレス)

パスワード

注意事項

電磁界情報データベースを使用するためには、新たにユーザー登録する必要があります。
旧データベースをお使いの方でも、新たにユーザー登録していただく必要があります。
DBへのアクセスが長期間隔には、ユーザー登録を抹消させていただく場合があります。
その場合は、再度ユーザー登録をお願いいただくことでアクセスが可能です。

ログイン

ユーザー登録
パスワードの再発行はこちら

© 2021 電磁界情報センター

スマホ画面

JEIC 電磁界情報センター
Japan EMF Information Center

電磁界情報データベース
論文、公的文書、規制、書籍などを収録しています。

最終更新日：2021-06-01

ログイン

ID (登録メールアドレス) とパスワードを入力してください

ID (登録メールアドレス)

パスワード

注意事項

電磁界情報データベースを使用するた

トップ画面

- 旧データベースではユーザー登録やパスワードの再発行をデータベースとは異なるリンクページで実施していたが、新しいデータベースではログイン画面の右下にリンクをまとめた。

【主な変更点②】

パソコン画面

JEIC 電磁界情報データベース
論文、公的文書、規制、書籍などを収録しています。

最終更新日：2021-06-01

簡易検索

資料区分ごとの登録件数

レビュー、論説/レター、プロシーディングスを含みます。

☒ 論文 () ☒ 一般書籍・報告書 () ☒ 規制・ガイドライン・技術指針 () ☒ 国内公文書 () ☒ 国際機関刊行物・国外公文書 ()

☒ 新報・雑誌 () ☒ その他 ()

※資料区分の右の数字がデータ登録件数です。

タイトル、日本語タイトル、キーワード、著者名、概要を入力する

簡易検索

詳細検索

主に論文について、条件を設定した検索をしたい場合はこちらから

詳細検索

ログアウト

退会はこちら

スマホ画面

JEIC 電磁界情報センター
Japan EMF Information Center

電磁界情報データベース
論文、公的文書、規制、書籍などを収録しています。

最終更新日：2021-06-01

簡易検索

資料区分ごとの登録件数

レビュー、論説/レター、プロシーディングスを含みます。

☒ 論文 () ☒ 一般書籍・報告書 () ☒ 規制・ガイドライン・技術指針 () ☒ 国内公文書 ()

国際機関刊行物・国外公文書

ログアウト

メニュー画面

- ログアウトボタンの下に退会機能を追加した。
- データ検索を実施する際に論文と論文以外のデータを分けて検索していたが、一括して検索できるように変更した。

3. 磁界測定プロジェクト(1/2)

廉価な磁界測定器・磁界測定アプリの精度確認

- 市場にある廉価な磁界測定器・磁界測定アプリに関する精度について確認するとともに、リスクコミュニケーションのための知見を高めることを目的とする。

【2021年度 実施状況】

- ✓ 精度確認結果を国内外の学会で発表を実施(一部予定)
 - ・電気学会 2021年全国大会(2021年3月10日発表)
 - ・CIGRE 2021 Virtual Centennial Session(2021年8月27日発表)
 - ・BioEM 2021(2021年9月27日発表予定)
- ✓ 精度確認結果を一般市民を対象としてホームページに掲載済み

学会発表の様子



HP掲載資料



3. 磁界測定プロジェクト(2/2)

スマートメーターから発生する電磁波の調査

- スマートメーターから発生する電磁波について調査することで、リスクコミュニケーションのための知見を高めることを目的とする。

【2021年度 実施状況】

- ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大により、測定の実施が困難となっているため、当面の間、計画を延期している。

充電式家電製品から発生する磁界測定

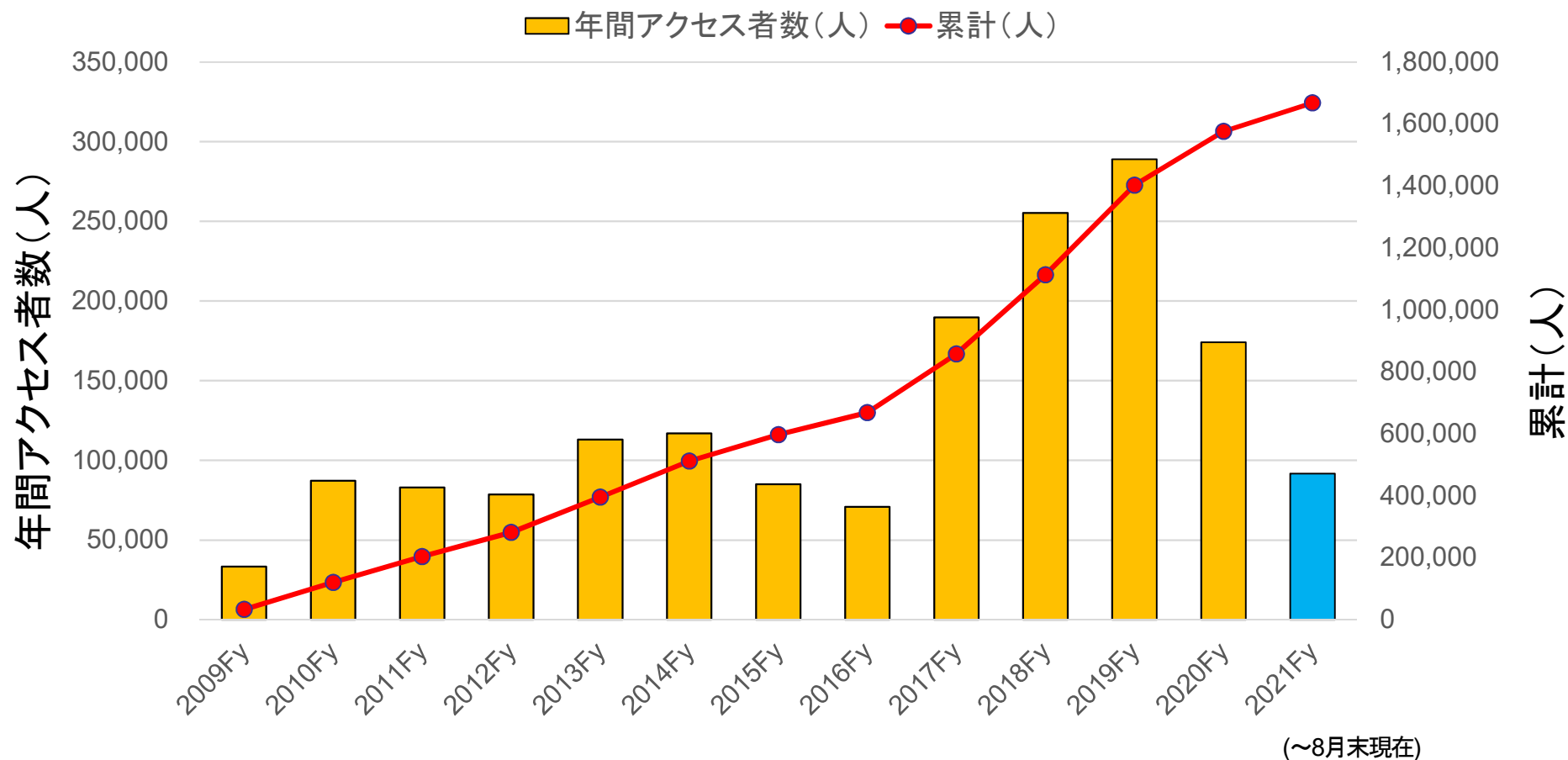
- 蓄電池技術の進歩により、近年、新たな充電式家電製品が世の中に流通している。過去の測定結果のうち、発売日からの時間経過などを考慮し、新たに充電式家電製品(5種目・11機器)を追加購入し、過去の測定結果も含めて、5種目・25機器のデータを整理した。
- 測定結果は、過去の測定結果と同様な傾向であり、**全てICNIRPのガイドライン値よりも小さい値**であった。

【2021年度 検討事項】

- ✓ 充電方式(接触／非接触)の違いによる磁界の周波数分布等の調査
- ✓ 充電初期と後期での磁界の周波数分布等の調査
- ✓ 回転機を内蔵している製品での磁界の周波数分布等の調査

4. ホームページの更新(1/2)

ホームページへのアクセス者数の推移



2017年9月より、レスポンシブルデザイン採用に伴い、スマホからのアクセスもカウントし増加したが、2020年以降減少に転じており、対策を実施中(次ページ参照)

4. ホームページの更新(2/2)

インターネット検索エンジン等の検索結果で、JEICHPの検索順位が下がっていることから、ホームページアクセス者数向上のため、**SEO(Search Engine Optimization)対策※**を実施。

SEO対策とは

WEBサイト上の検索順位で上位に表示させ、検索者に自身のページを見つけてもらうための施策。
(SEO対策をしない限り、検索順位は低下するため上位を維持し続けるためには、**継続的な対策が必要**)

【2021年度上期までに実施したSEO対策】

- サイトの信頼性向上 : HTTPS化(暗号化されたセキュリティー上安全な通信方式の導入)
- サイト不具合の解消 : リンク切れURLやページの抽出、削除または更新(452件)
- 操作性の向上 : ホームページ内の検索機能の強化(検索結果ページ、検索結果順位等の見直し)
- モバイル端末への最適化 : スマートフォン向け動画コンテンツのリリース



- ・引き続きSEO対策を実施しながら経過観察を行っていく。
- ・今後、英文のHPも同様のSEO対策を実施予定。

5. インターネット広告の配信

掲載広告例

医療従事者



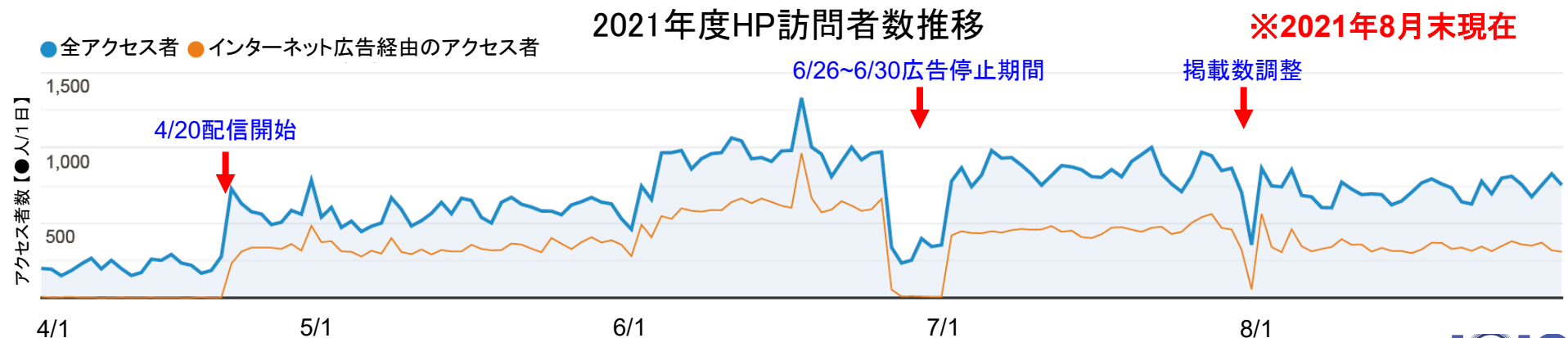
学生



妊婦・子どもを持つ親

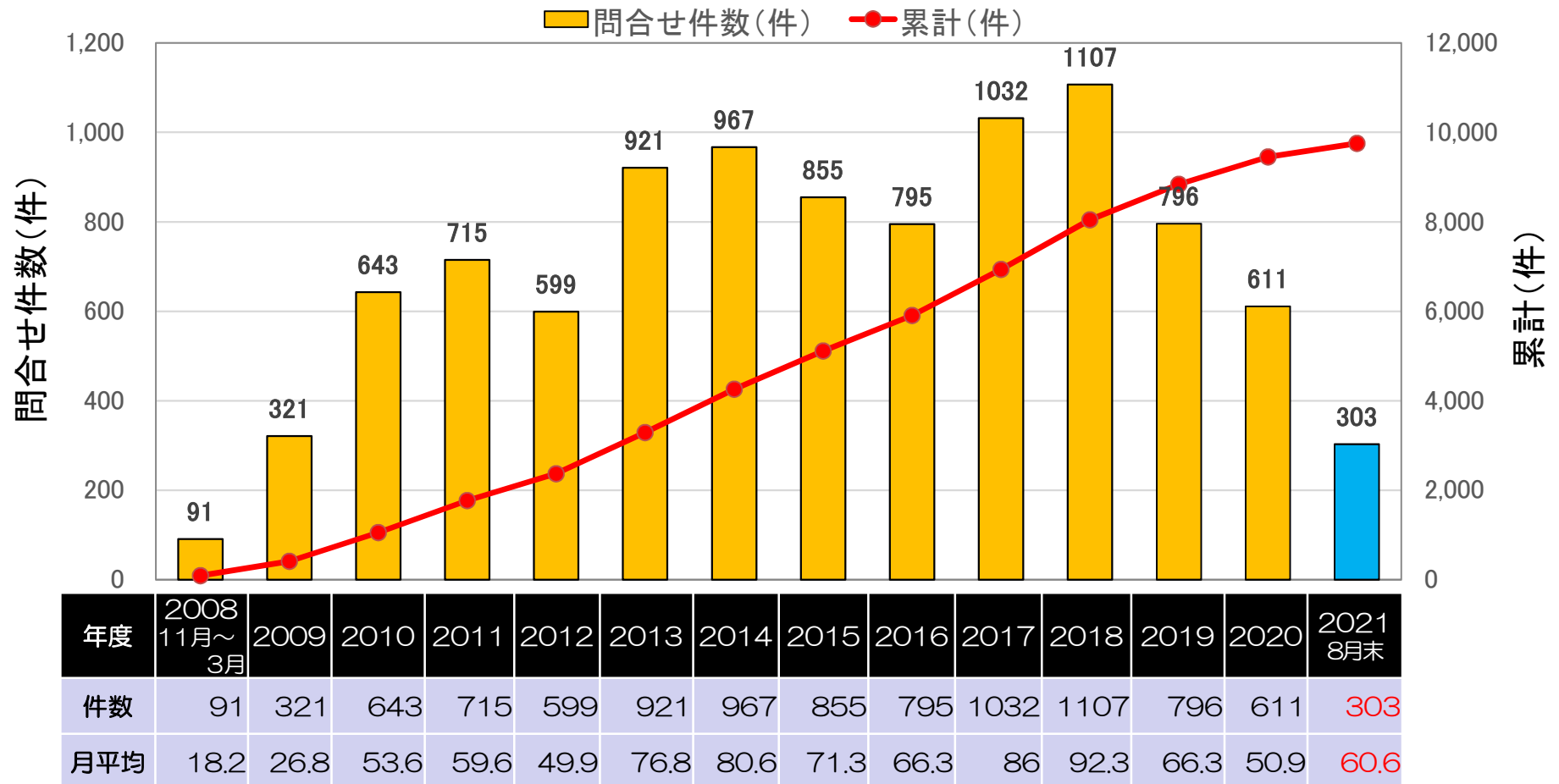


広告表示ターゲットを絞った配信を今年度も継続



6. 問い合わせ対応状況

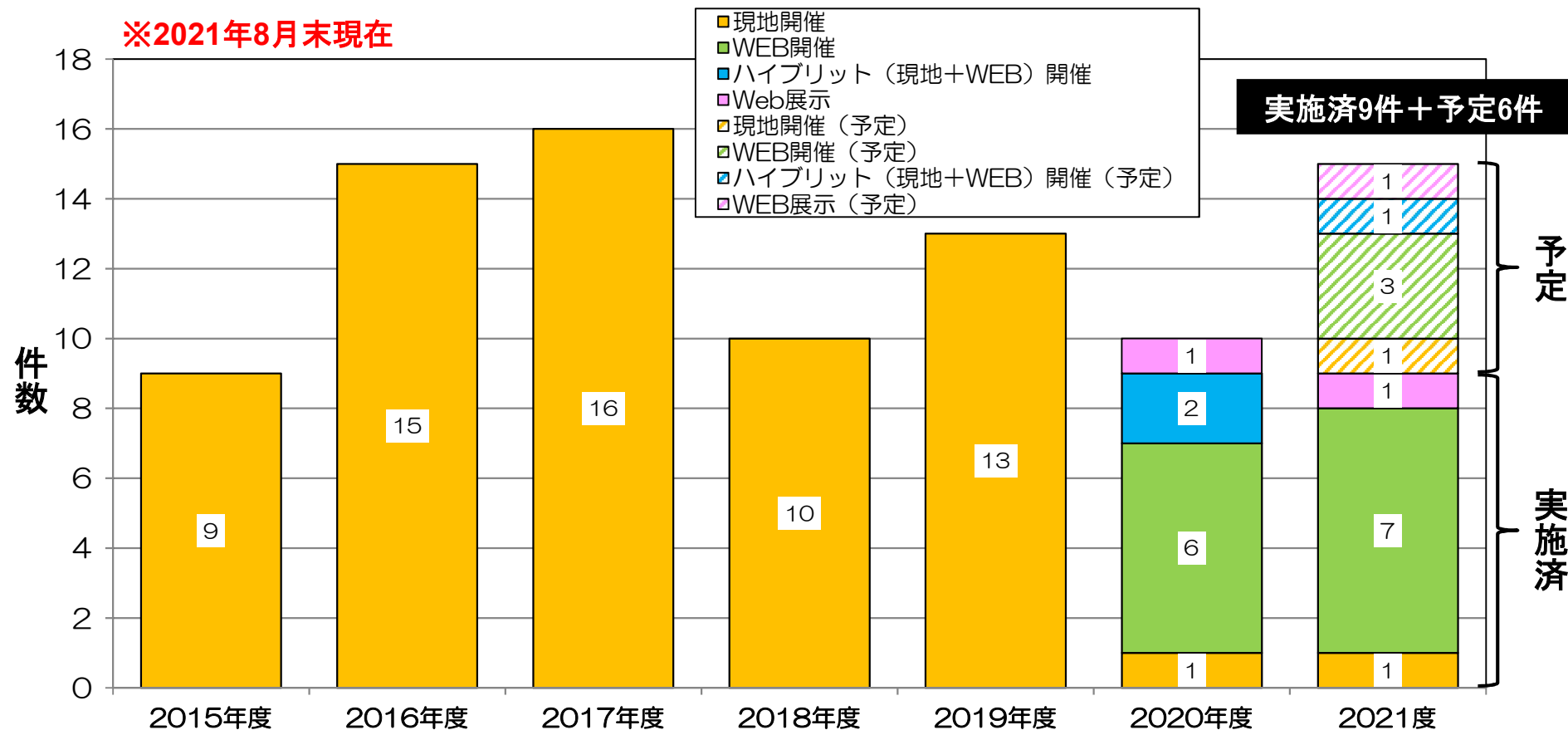
年度別問合せ件数推移



2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、電話による問合せ受付を2ヶ月間休止したが、今年度はテレワークにおいても対応を輪番で実施していることから、回復傾向。

7.情報の媒介者を対象とした情報提供活動

学校保健・衛生関係関連学会等への参加状況



2020年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で現地開催からWEB開催に変更となったランチョンセミナーが多数を占める。

8月末現在、現地開催1件、WEB開催7件、WEB展示1件、計9件実施済み。

8. 対象層特化活動(妊婦の知識啓発)(1/2)

超低周波電磁波の健康影響については、「小児白血病」との関連が指摘されていることもあり妊婦等からの電磁波ばく露に伴う胎児への健康不安の問い合わせが多数寄せられていることから、妊婦の過大な不安を払拭させ、正しい理解促進に繋がるような知識啓発活動が重要。

啓発活動 概要

- 2015年度より、“プレママのためのパンフレット”を配布および電磁界情報センターホームページに掲載(2021.3改訂)
- 2016年度より、「健やか親子21」ホームページで、同パンフレット掲載および「健やか親子21」参加団体への働きかけ
- 2017年度より、母子衛生研究会との連携による母子保健普及啓発事業(次ページ参照)
- 2021年度は、日本助産師会、日本助産学会、日本周産期メンタルヘルス学会 ランチョンセミナーを主催
(実施済1件、予定2件/ 8月末現在)



8. 対象層特化活動(妊婦の知識啓発)(2/2)

公益財団法人 母子衛生研究会との連携による 母子保健普及啓発の実態

【母子保健セミナー事業】 (2017年度から継続)

- 電磁波の母子保健セミナー(2021年10月:名古屋)100名程度
(コロナウイルス感染症拡大状況によりWEB配信に変更の可能性有り)
- これまで母子衛生研究会が助産師等を中心に案内を実施してきたが、小さな子供を持つ親への情報の媒介者という観点から、2019年度より保育士等へも案内を配布

【パンフレット配布事業関連】 (2018年度から継続)

- センター主体で作成した教材「妊娠期から知っておきたい赤ちゃん和妈妈のための電磁波のはなし」を母子衛生研究会が母子健康手帳副読本とともに配布

第4版

配付部数: 68万部(2021年10月～2022年9月)

〔初版77万部、第2版70万部、第3版68万部を配布〕

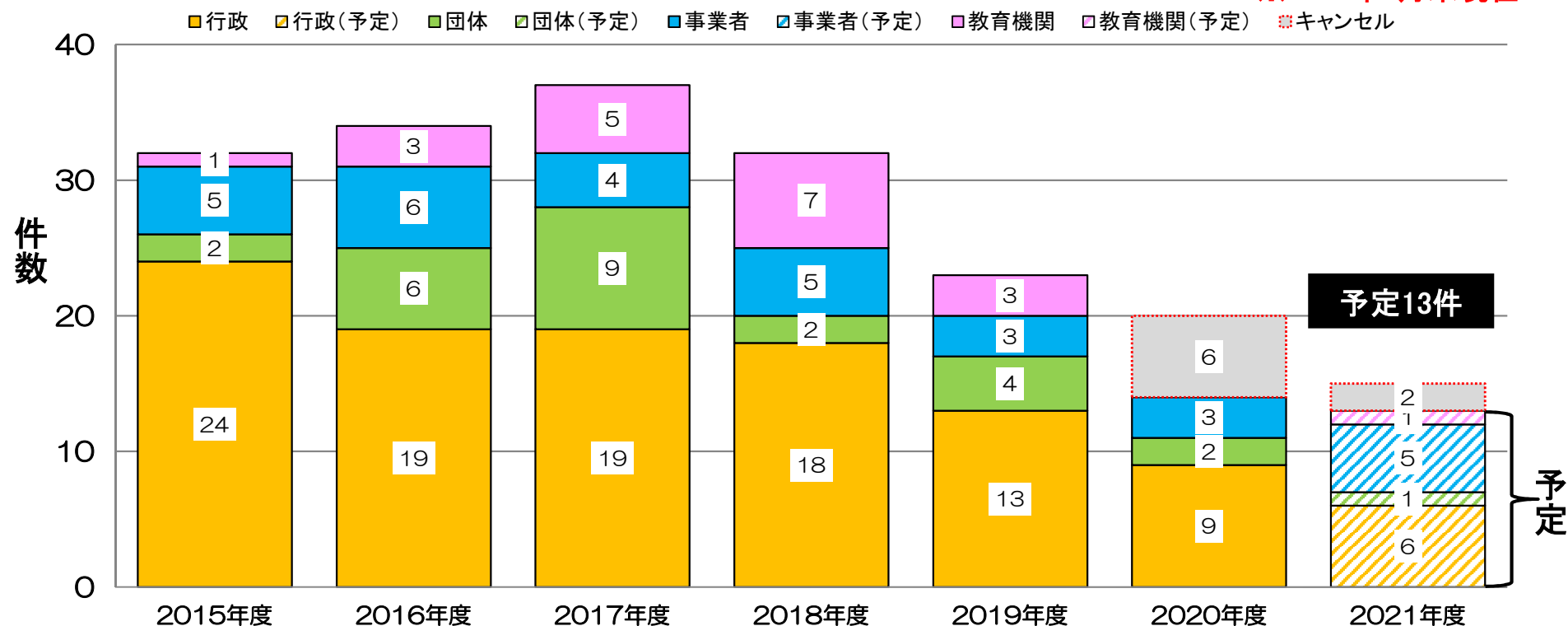


9.要請による電磁界説明会

依頼講演会の実施状況

身のまわりの電力設備、家電製品やIH調理器、携帯電話等から発生する電磁波の健康影響に関する講演等

※2021年8月末現在



2021年度の講演会依頼数は、例年に比べ減少傾向である。昨年から、新型コロナウイルス感染症拡大により開催直前でのキャンセルが相次いでいる(2020年度6件、2021年度2件)。

10.WEBセミナーへの取り組み

対面型講演会が減少傾向であることから、より広い地域の多くの方へ配信可能なWEBセミナーを開催。

WEBセミナー実施状況(個人向けセミナー)

2021年8月末現在

テーマ1: 電磁界の基礎知識	開催日: 5月11日、6月23日	参加者合計: 19名
テーマ2: 静磁界、低周波電磁界	開催日: 5月18日、6月30日	参加者合計: 22名
テーマ3: 高周波電磁界	開催日: 5月25日、7月 7日	参加者合計: 26名
テーマ4: 中間周波、電磁過敏症	開催日: 6月1日、 7月14日	参加者合計: 22名

※団体向けセミナーの実施0件

2021年度下期は、オープン環境のオンデマンド配信を追加し、視聴層の拡大を図る。

【オンライン配信(生中継の配信)】

従来

WEB会議ツール(Zoom)を用いて、リアルタイムで配信を行うことで質問への回答や視聴者のコメントを拾いながら補足を加える等、**視聴者とコミュニケーションが取れる配信形式**

※参加申込要



【オンデマンド配信(動画の配信)】

新たに追加

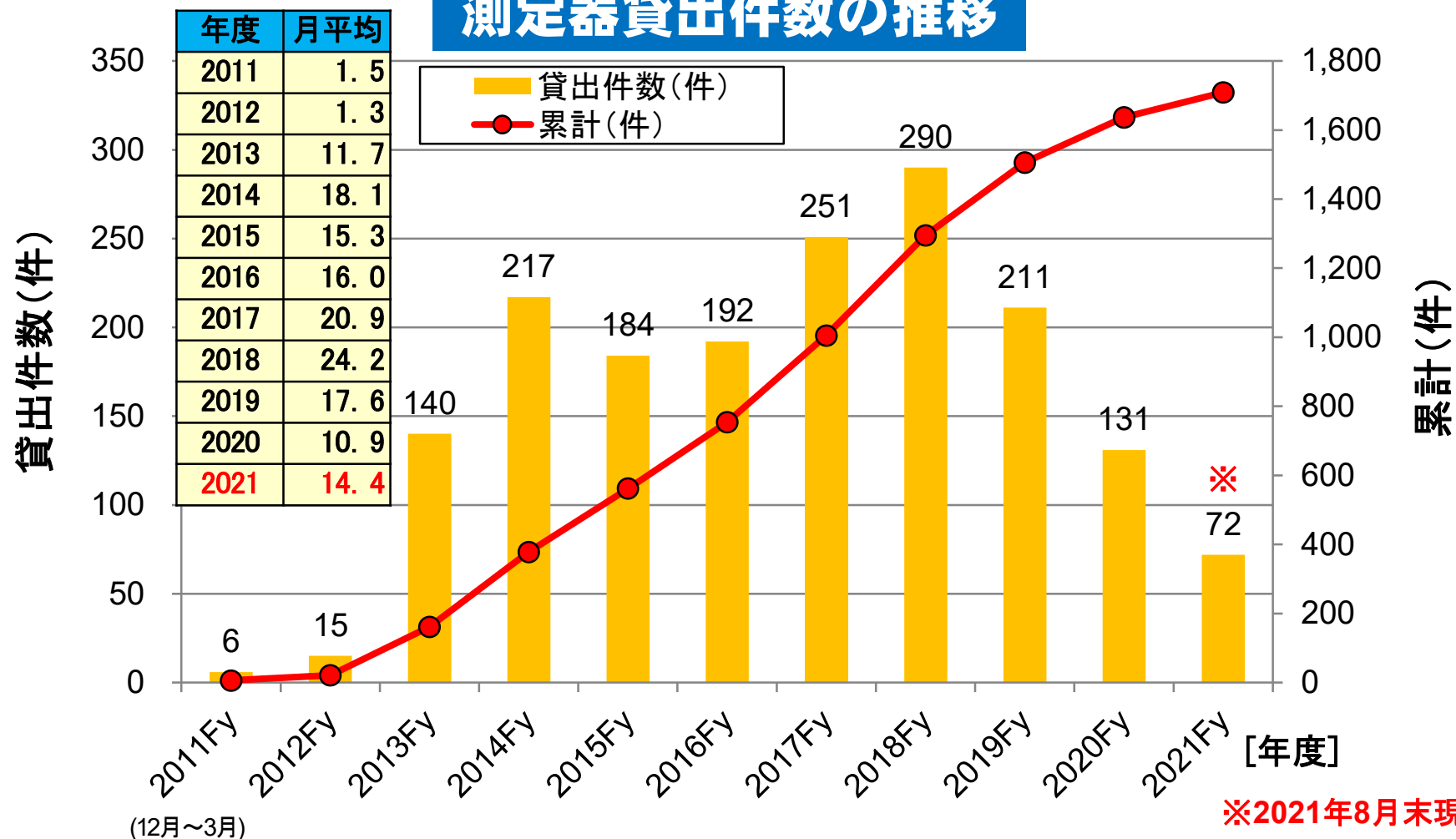
あらかじめ撮影・編集したセミナー動画を一定期間HPに公開し、**視聴者の好きなタイミングに動画が視聴できる配信形式**

※参加申込不要



11. 磁界測定器貸出(1/3)

測定器貸出件数の推移



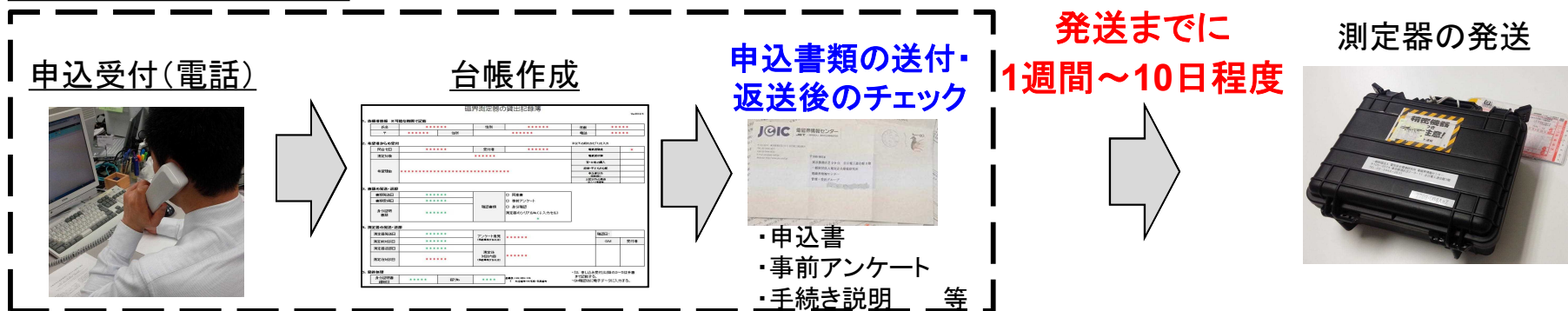
- ・2019年度以降貸出件数が減少傾向。(2020年4月～5月は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により電話休止)
- ・利用しやすいサービスを提供するため、磁界測定器貸出のWEB受付化に向けた検討を開始(次ページ参照)。

11. 磁界測定器貸出(2/3)

磁界測定器貸出WEB受付化検討

現状：電話受付後に書面での取り交わしを行っているが、対応に1週間程度を要しているため、貸出を急がれている方への要望に応えられていない。

従来：電話受付



検討中：WEB受付を追加

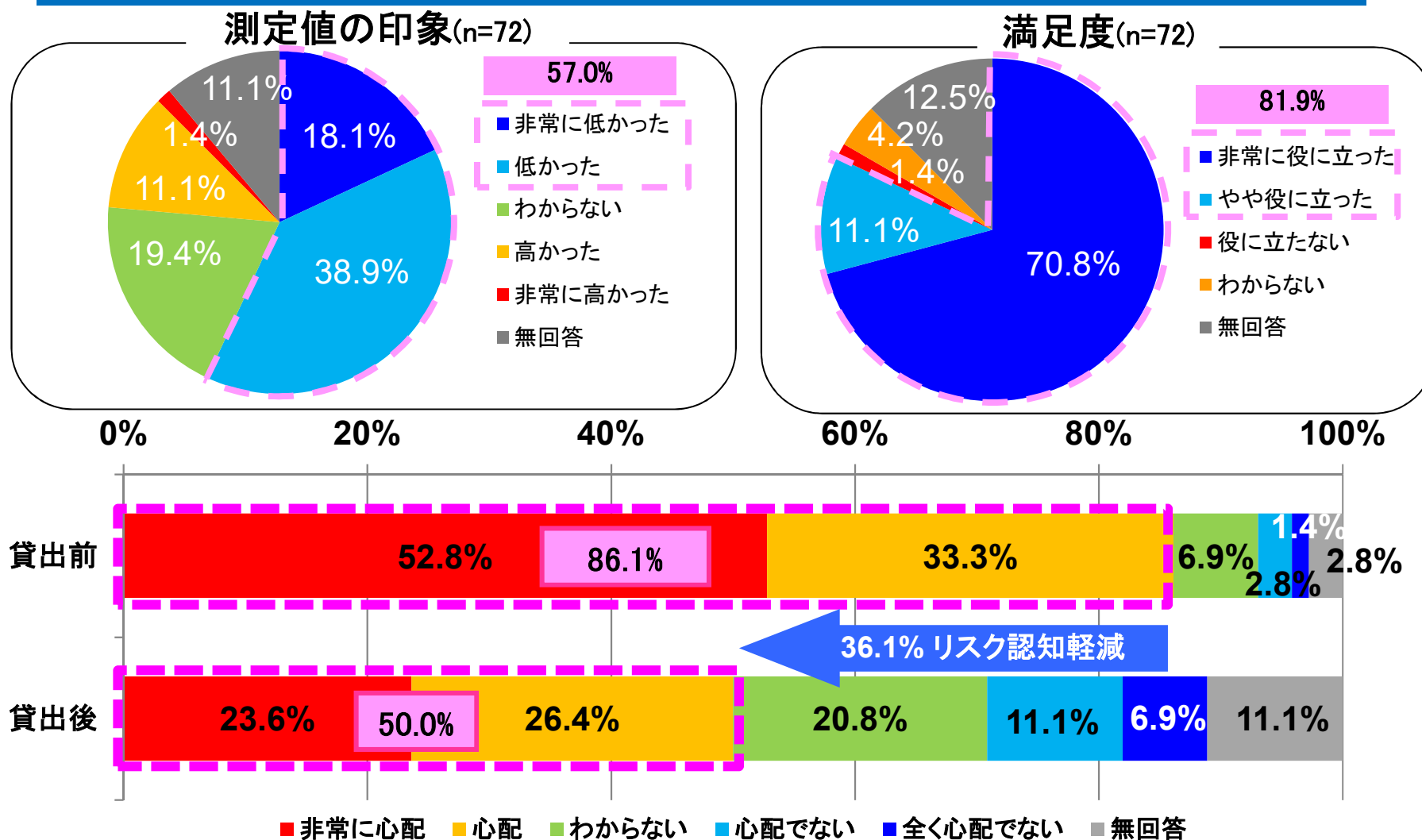


今後の予定

2021年度中にシステム構築を行い、2022年度4月より、WEB受付の本格運用を開始予定。

11. 磁界測定器貸出(3/3)

2021年度(4月～8月末)アンケート集計結果による評価



磁界測定前後のリスク認知の変化 (n=72)

12. NCRP非電離放射線助言パネル会合

米国放射線防護審議会(NCRP)は、1964年、連邦議会の認可のもとに設立された非営利団体。非電離放射線の健康リスク情報を国民に提供することも任務の一つで、その作業は、非電離放射線助言パネルが行っている。8月末にパネル会合があり、リスクコミュニケーションの豊富な経験を有する電磁界情報センターに講演依頼があった。

Meeting of the NCRP Advisory Panel on Nonionizing Radiation & Invited Experts August 29-31, 2021, Boston, MA

Meeting Attendees



NATIONAL COUNCIL ON RADIATION PROTECTION AND MEASUREMENTS

President: Kathryn D. Hall, Senior Vice President: Jerald T. Bauling
7900 Woodmont Avenue, Suite 400, Bethesda, Maryland 20814-3095 Voice: (301) 657-2652 Fax: (301) 580-8005

RE: NCRP Advisory Panel on Nonionizing Radiation October Meeting & New CDC Grant

Members of the NCRP Advisory Panel on Nonionizing Radiation:

I realize it has been a long time since I recruited each of you to be a member of NCRP's Nonionizing Radiation Advisory Panel. Some of you have been contacted to provide general responses to questions from the public or government concerning RF health effects over the past few years, but we have not had any specific tasking beyond that, until now. As I mentioned in my initial invitation, NCRP's activities are driven by grants and contracts from the federal agencies that require independent consultation on issues related to radiation protection and health and safety issues from one or more of the several scientific program areas for which NCRP has recruited established experts.

Our Meeting:

As you know, NCRP is organizing a meeting of the Advisory Panel on Nonionizing for an in-person meeting along with additional invited experts in Cambridge, MA on August 29-31, 2021. Attendance via web conference will be made for individuals unable to attending in person (Attendees and their contact information are shown in **Attachment A**. Arrangements have already been made for those gathering in Cambridge and web-invitations will be issued for those attending virtually for this three-day meeting.

Note: All in-person attendees please confirm that you have completed COVID vaccination by sending an email to matt@ncrponline.org

The purpose of this meeting is to provide background information and begin the work on a recent tasking from Center for Disease Control (CDC) to create NCRP informational webpages that can be used as a resource to educate others about wireless technology and its known health effects. With your help, at this meeting I hope to be able to develop a scope of work; timeline; program outline and recommendations for a Chair and members of a NCRP scientific committee to do the work over the next 12 months. This meeting is funded by an existing CDC grant.

At the meeting we will review the current state of available information and misinformation pertaining to health effects of non-ionizing radiation. Other topics areas will include a look into the wide variance of quality scientific research in this area, overview of human decision-making systems and the science of good communication practice. We will also hear about the experience and needs from two federal agencies and the professional consulting community. Representative from NCRP Program Area Committee (PAC 7) who specialize in risk communication and public outreach will be present to explain the capabilities to support this effort. The full agenda is shown as **Attachment B**.

VICE PRESIDENTS

Program Area Committees:

Basic Criteria, Epidemiology, Radiobiology, and Risk
Gayle E. Woloschak
Northwestern University

Ionizing Radiation Safety
Joanne L. Bernstein, Co-Chair
Memorial Sloan Kettering Cancer Center

Operational Radiation Safety
Kathryn H. Pryor
Pacific Northwest National Laboratory (ret)

Nuclear and Radiological Security and Safety
Armin Assef
Centers for Disease Control and Prevention

Radiation Protection in Medicine
Donald L. Miller
U.S. Food and Drug Administration

Lawrence T. Desser, Co-Chair
Memorial Sloan Kettering Cancer Center

Environmental Radiation and Radioactive Waste Issues
William E. Kennedy, Jr.
WT Kennedy Consulting

Radiation Measurements and Dosimetry
Steven L. Simon
National Cancer Institute
National Institutes of Health

Radiation Education, Risk Communication, and Outreach
Randall N. Hyer
Center for Risk Communication

A non-governmental,
non-for-profit,
congressionally chartered,
public service organization

Remote Foreign Guest Speaker

[Chiyoji Ohkubo](#)

Director

Japan EMF Information Center

2-9-11 Shiba, Minato-ku, Tokyo, 105-0014 Japan



Japan EMF Information Center

Risk Communication Activities of Japan EMF Information Center



Japan EMF Information Center

Chiyoji OHKUBO